

平成 30 年度 9 月補正予算の概要

(単位：千円、%)

区 分	補正前予算額	補正額	補正後予算額	増減率	備考	
一般会計	25,388,559	△416,349	24,972,210	△1.6		
特別会計	国民健康保険事業特別会計	6,049,600	72,940	6,122,540	1.2	
	下水道事業特別会計	5,926,700	△508,416	5,418,284	△8.6	
	介護保険事業特別会計	5,470,700	2,976	5,473,676	0.1	
	後期高齢者医療事業特別会計	716,200	5,550	721,750	0.8	
	小 計	18,163,200	△426,950	17,736,250	△2.4	
	補正されなかった特別会計	1,087,900	—	1,087,900	—	
	合 計	19,251,100	△426,950	18,824,150	△2.2	
一般・特別会計 計	44,639,659	△843,299	43,796,360	△1.9		

1. 予算編成の考え方 【補正総額△843,299千円】

一般会計

【△416,349千円】

学校施設や通学路沿いの危険ブロック塀の除去等に係る事業費を計上
 平成 30 年 7 月豪雨により被災した岡山県倉敷市への支援事業を予算化
 経年劣化した清掃工場の改良工事を計上



- ・小中学校施設維持管理費
- ・危険ブロック塀等除去事業
- ・防災対策事業
- ・廃棄物適正処理推進費

◎ 本市の復旧・復興を加速させるための予算 【補正額 7,250千円】

- 財産管理費、ふるさとしおがま復興基金費、の 2 事業 【7,250 千円】

◎ 長期総合計画実現のための予算(通常事業分) 【補正額 84,817千円】

- 小中学校施設維持管理費、危険ブロック塀等除去事業、防災対策事業、廃棄物適正処理推進費、など 11 事業 【84,817 千円】

◎ 特別会計への繰出金 【補正額 △508,416千円】

- 下水道事業特別会計繰出金 【△508,416 千円】

◎ 普通交付税等の交付額確定に伴う補正 【歳入補正】

- 普通交付税の交付額及び臨時財政対策債の発行可能額確定に伴う補正

国民健康保険事業特別会計

【72,940千円】

国庫補助金等精算返還金の予算計上

- ◎ 平成 29 年度一般療養給付費等の確定に伴う国庫補助金等精算返還金 【補正額 72,940千円】
 - 一般被保険者償還金費、退職被保険者等償還金費の増額補正

下水道事業特別会計

【△508,416千円】

複数年契約を行う復興事業の予算の組み替え

- ◎ 複数年契約に向けた復興事業の減額補正と事務費の整理 【補正額 △508,416千円】
 - 越の浦地区下水道整備事業の減額補正 △515,000千円
 - 職員人件費の増額補正 6,584千円
- ◎ 債務負担行為の追加設定
 - 越の浦地区下水道整備事業（H31年度） 限度額 515,000千円
※既決予算と債務負担行為の設定により、H30～31年度の複数年契約を行う。

介護保険事業特別会計（保険事業勘定）

【2,976千円】

国庫支出金等返還金の予算計上

- ◎ 平成 29 年度介護給付費等の確定に伴う国庫支出金等返還金 【補正額 2,976千円】
 - 社会保険診療報酬支払基金からの介護給付費交付金等に対する国庫支出金等返還金の増額補正

後期高齢者医療事業特別会計

【5,550千円】

広域連合納付金（繰越分）の予算計上など

- ◎ 後期高齢者医療保険料等繰越分 【補正額 5,550千円】
 - 後期高齢者医療広域連合納付金費（前年度医療保険料繰越分） 5,030千円
 - 保険料還付金費（前年度保険料未還付分） 520千円

2. 主な事業(会計別)

(単位:千円)

【 一般会計 】

補正額 △416,349千円

【 災害関連事業 】 ・ ・ ・ 補正額 7,250 千円

- ①財産管理費 (財政課) 1,500 壱番館南駐車場の代替駐車場を整備
 - ・壱番館南駐車場が、海岸通地区震災復興市街地再開発事業の進展に伴い、利用ができなくなることから、代替駐車場として「くるくる広場」を整備する。
 - ・財源として、市街地再開発組合からの工作物等移転補償金を活用する。
- ②ふるさとしおがま復興基金積立金 (財政課) 5,750 代替駐車場撤去工事等の財源の確保
 - ・公共駐車場供用開始後の「くるくる広場」の現状復旧費等の財源の確保として、上記の工作物等移転補償金をふるさとしおがま復興基金に積み立てる。

【 通常事業 】 ・ ・ ・ 補正額 84,817 千円

- ①宮城県市長会負担金 (政策課) 549 平成 30 年 7 月豪雨被災地等への宮城県市長会見舞金
 - ・平成 30 年 7 月豪雨の被災地等への、宮城県市長会からの見舞金に係る本市負担金を計上
- ②高等職業訓練促進給付金等事業 (子育て支援課) 1,431 ひとり親家庭の親の資格取得を支援
 - ・ひとり親家庭の親が就職するために有利で、かつ生活の安定に資する専門資格(看護師や介護福祉士等)の取得のための給付事業について、給付対象者の増(2名→4名)による増額補正を計上
- ③廃棄物適正処理推進費 (環境課) 46,000 清掃工場ガス冷却室ケーシング等改良工事
 - ・経年劣化により亀裂が生じた、清掃工場のガス冷却室の改良工事を行う。
- ④木造住宅耐震改修工事助成事業 (定住促進課) 6,000 木造住宅の耐震改修費用を助成
 - ・倒壊の危険があると判定された住宅の改修費用の助成事業について、申請見込件数の増(10件→16件)による増額補正を計上
- ⑤住環境整備事業 (定住促進課) 1,200 耐震改修工事に併せて実施する工事費用を助成
 - ・木造住宅耐震改修工事と併せて実施する「耐震改修工事以外の工事」に対する助成事業について、申請見込件数の増(10件→16件)による増額補正を計上
- ⑥危険ブロック塀等除去事業 (定住促進課) 1,260 危険ブロック塀除去に対する補助
 - ・通学路沿いにある危険なブロック塀等の除去に要する費用に対する助成事業について、申請見込件数の増(2件→20件)による増額補正を計上
 - ・増分 18 件のうち、8 件はスクールゾーンの緊急点検にて支障箇所として確認されたもの
- ⑦市道整備事業 (土木課) 17,520 新浜町泉沢線における杉の入地区の舗装修繕工事
 - ・国の社会資本整備総合交付金を活用し、経年により舗装版が劣化している、市道新浜町泉沢線の杉の入地区の舗装修繕を行う。
- ⑧防災対策事業 (市民安全課) 6,441 平成 30 年 7 月豪雨により被災した岡山県倉敷市への支援
 - ・東日本大震災の復旧・復興事業に係る業務支援をいただいた岡山県倉敷市が、平成 30 年 7 月豪雨により甚大な被害を受けたことから、本市職員の派遣等により支援を行うもの。

⑨小中一貫教育推進事業（学校教育課） 558 県委託事業を活用した幼保小連携事業の拡充

- ・宮城県の「学ぶ土台づくり」市町村支援モデル事業を活用し、本市独自の小中一貫教育の柱の一つである幼保小連携事業の更なる拡充を図る。
- ・小学校での授業研究や研修会の開催、小学校入学準備等に関するパンフレットの作成等を行う。

⑩小学校施設維持管理費（教育総務課） 2,582 学校施設のコンクリートブロック塀の改修工事等

⑪中学校施設維持管理費（ ” ） 1,276 ”

- ・市内小中学校敷地内の危険コンクリートブロック塀の撤去、及びネットフェンス設置を行う。
- ・第三小学校、月見ヶ丘小学校、第三中学校

【 繰出金 】 . . . 補正額△508,416千円（財政課）

○下水道事業特別会計繰出金（下水道課へ） △508,416 越の浦地区下水道整備事業の減額補正等

- ・越の浦地区下水道整備事業等に係る繰出金

【 普通交付税等の補正 】 . . . 歳入補正（財政課）

○普通交付税の交付額、及び臨時財政対策債発行可能額の確定に伴う歳入の補正予算を計上

（単位：千円）

項目	当初予算額	確定額	補正額
普通交付税	4,648,000	4,753,839	105,839
臨時財政対策債	670,400	710,100	39,700
合計	5,318,400	5,463,939	145,539

【 国民健康保険事業特別会計 】**補正額72,940千円****【 諸支出金（過年度精算関係） 】** . . . **補正額 72,940 千円（保険年金課）**

①一般被保険者償還金費（保険年金課） 67,452

②退職被保険者等償還金費（保険年金課） 5,488

・前年度療養給付費負担金等の精算返還金を国保財政調整基金繰入金により精算返還する。

【 下水道事業特別会計 】**補正額△508,416千円****【 復興事業の複数年契約に係る予算整理 】** . . . **補正額△508,416 千円（下水道課）**

①職員人件費（下水道課） 6,584

・越の浦地区下水道整備事業の減額補正に伴い、事業の事務費として計上していた人件費を、一般管理費の職員人件費に計上する。

②越の浦地区下水道整備事業（下水道課） △515,000

・当初予算では年度内の完了としていた工事について、詳細設計により工期が H30～31 年度の 2 か年度にわたることとなったため、現年度予算の減額補正と H31 年度分の債務負担行為の設定により、複数年契約を行う。

【 債務負担行為 】

○越の浦地区下水道整備事業（下水道課） 限度額:515,000 期間:H31 年度

・工期が H30～31 年度の 2 か年度にわたるため、債務負担行為を設定し複数年契約を行う。

▼越の浦地区下水道事業の予算の組み替え

(単位:千円)

年度	当初事業費	補正後事業費	備考
H30 年度	721,000	206,000	現年度予算
H31 年度	—	515,000	債務負担行為を設定
合 計	721,000	721,000	

【 介護保険事業特別会計(保険事業勘定) 】**補正額2,976千円****【 諸支出金（過年度精算関係） 】** . . . **補正額 2,976 千円（長寿社会課）**

○国庫支出金等返還金（長寿社会課） 2,976

・社会保険診療報酬支払基金への介護給付費等交付金及び地域支援事業支援交付金の精算返還金を介護財政調整基金繰入金により精算返還する。

【 後期高齢者医療事業特別会計 】**補正額5,550千円****【 前年度保険料繰越分等 】** . . . **補正額 5,550 千円（保険年金課）**

①後期高齢者医療広域連合納付金費（保険年金課） 5,030

・前年度医療保険料繰越分を計上

②保険料還付金費（保険年金課） 520

・前年度保険料未還付分(特別・普通徴収分)